

認定便り 2019年12月号

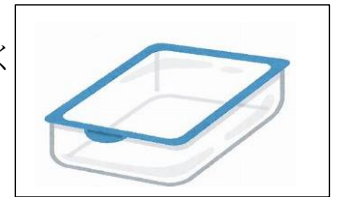


今回は、災害についてです



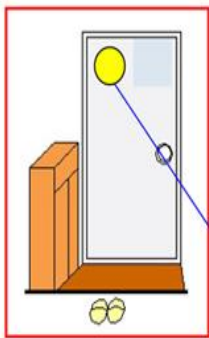
自宅で療養中の方は、日頃から災害時に備え準備をしておきましょう

- お薬手帳は決まった場所に置いておく。事前にお薬の内容をコピーして、緊急避難袋に入れておくのも良い。
- 運転免許証や身分証明書も一緒に非難袋に保管するとよい。
- かかりつけ医と相談の上、普段飲んでいる薬や貼り薬など、最低1週間は、余分に手元にあるようにしておく。糖尿病の方で、インスリンの自己注射をしている方も余分にインスリンが手元にあるようにしておくこと、災害時の対応も主治医に相談しておく。
- 保管は、緊急時に持ち出しやすく、また浸水被害などが受けにくい様タッパーウェアなどの密閉容器に入れておく。密閉容器は、水に濡れにくく浮くため浸水被害を受けにくい。
- 人工肛門の方のパウチ用品もタッパーウェアなどの密閉容器に入れておく。
- 人工透析を受けている方は「透析患者カード」を糖尿病の方は、「糖尿病手帳」を携帯する。



～「救急医療情報キット」の御紹介～

「救急医療情報キット」とは、自分の氏名、年齢、持病、かかりつけ医、緊急連絡先などの情報を記入した用紙を円筒形のプラスチック容器などの中に入れ、冷蔵庫のドアポケットに保管しておくことで緊急時に活用するものです。 *詳しくは市役所四日市防災情報をご覧ください。



(玄関ドア内側左上に表示)



(冷蔵庫外側左上に表示)



(冷蔵庫のドアポケットに保管)

「救急医療情報キット」

